

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：高松 諭

事業名	空港・港湾等アクセス 一般国道245号 久慈大橋	事業区分	一般国道	事業主体	茨城県
起終点	自：茨城県東海村豊岡 至：茨城県日立市留町			延長	1.0 km
事業概要					
国道245号は、水戸市から日立市に至る幹線道路であり、産業・観光の両面において、地域振興を支える重要な路線である。本事業は日立市内の交通渋滞の緩和を図るとともに茨城港日立港区、常陸那珂港区の物流機能強化を図ることを目的とし、延長約1.0km区間について、久慈大橋の架け替えを含めた整備を行うものである。					
H31年度事業化		H16年度都市計画決定		R6年度用地着手予定	
R4年度工事着手					
全体事業費	約100億円	事業進捗率	約4%	供用済延長	— km
計画交通量	31,000台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年 令和5年	
	(事業全体) 1.4 (残事業) 1.5	(残事業)/(事業全体) 74/79億円 事業費：73/78億円 維持管理費：0.76/0.76億円 更新費：-/-億円	(残事業)/(事業全体) 108/108億円 走行時間短縮便益：90/90億円 走行経費減少便益：13/13億円 交通事故減少便益：4.5/4.5億円		
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.3~1.5 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.3~1.6 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.3~1.5 (事業費±10%) 事業費：B/C=1.3~1.6 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3~1.6 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.3~1.7 (事業期間±20%)					
事業の効果等					
・物流路としての機能向上が図られることにより、茨城港日立港区及び常陸那珂港区の物流拠点としての価値の向上が図られる。 ・沿線に所在する観光施設、商業施設へのアクセス性が向上し、観光客の増加による経済波及効果が発生する。					
関係する地方公共団体等の意見					
沿線自治体で構成される「日立都市圏幹線道路整備促進期成会」から、本事業の早期完成の要望活動が行われている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率10%、事業進捗率約4%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
上部工の形式について、合理化橋梁構造を採用することで、主桁本数を減らし、使用鋼材量を削減することで、コスト縮減を図る。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。